

「市の責任で、市民の移動手段の確保を」

第4次春バス運行計画（案）を策定

春日部市は第4次春バス運行計画（案）を策定しました。8月21日から、9月19日まで市民意見提出「パブリックコメント」が実施されていました。公民館等に資料が配架され、公民館等に資料が配架されています。

春バスの役割は、各地域の日常生活を支援

市は、「地域公共交通計画」をもとに春バスの目的を「鉄道や路線バスを補完し、各地域の日常生活を支援する」として再編計画を策定しました。

春日部市は第4次春バス運行計画（案）を策定しました。8月21日から、9月19日まで市民意見提出「パブリックコメント」が実施されていました。公民館等に資料が配架され、公民館等に資料が配架されています。

春バスの役割は、各地域の日常生活を支援

市は、「地域公共交通計画」をもとに春バスの目的を「鉄道や路線バスを補完し、各地域の日常生活を支援する」として再編計画を策定しました。

現在の第三次春バス運行は6ルートでそのうち4ルートは隔日運行であり、便数が少ないルートも多く市民からのアンケートでも「本数が少ない」「ルートの数が少ない」など多くの意見がありました。

次運行計画は、3ルートとしました。3ルート設定の考え方の主なものを紹介します。

粕壁→幸松ルート

春日部東口→北春日部東口コースの設定

西口周辺の主要施設を結ぶ二駅を結び、利用者増を図る

武里駅→豊春駅ルート

秀和病院乗り継ぎで春日部駅一ノ割駅にアクセスできる

市は現在の春バス運行の課題を①隔日運行で通勤通学に利用できない。②ルートが長大化している③運行経費に占める公費負担割合が高い等と

して、春バスの再編方針を次のように定めました。

①利用者の少ない路線を見直し、ニーズの高い施設のダメヤを充実する。

②所要時間を短くし、運行頻度を向上させる。

③すべて毎日運行とする。

④乗り継ぎ対象を検討する。

以上の課題をふまえ、第4

次運行計画は、3ルートとしました。3ルート設定の考え方の主なものを紹介します。

タクシー代補助制度を

庄和地域で実証実験

75歳以上の方と妊娠婦を対象に、タクシー代補助制度の検討を行います。1年間庄和地域で実証実験を行い、春日部市全域に広げる検討をしていきます。

公費負担率が高いことなどを理由に多くの路線が廃止されました。しかし、必要な経費を負担して、市民の移動手段を確保するのは行政の仕事です。自分達の地域が暮らしやすくなるのかを考え、意見を提出していきましょう。

ニーズの高い場所へのダイヤの充実

南桜井駅北側にルートを集約

【廃止ルート】

①庄和地区南

②豊春駅・内牧・北春日部

③赤沼→武里駅

庄和地区ルート

<生活相談は日本共産党へ> 秋山文和 761-8670 松本ひろかず 752-3947

並木としえ 737-4576 大野とし子 746-6136 今尾やすのり 761-3676 木下みえ子 734-4677

日本共産党市議団ホームページ <https://www.jcp-kasukabe.jp/>



原水爆禁止2023長崎世界大会

今なお残る被爆の傷跡、核廃絶の決意

8月7日から9日の予定で長崎市内で開催された「原水爆禁止2023世界大会」に参加した小菅昇さん(春日部教職員組合)から手記が寄せられましたので紹介します。

会場を埋め尽くす人 地球規模の大会

原水爆禁止世界大会に初めて参加しました。台風6号の接近で、9日までの予定を1日短縮するなど、アクシデントもありましたが、出会いと学びが詰まつた、大変有意義な集会でした。

で実感しました。春日部で講演していただいたことある小林節さんが「日本はアメリカの奴隸じやないんだよ。日本は核兵器禁止条約に署名・批准していい国なんだよ。ということを自覚させる大衆運動が必要」と特別発言されたことが印象的でした。

どんな未来を、地球を 残していくのか？

埼玉代表団の交流会では、「被爆者の生の声を聞くことができました」と発言した青年。また、沖縄にも行ったことがあるという青年は「本当に戦後なのでしょうか」と問いかけました。青年に元気をもらいました。

7日の開会総会は、政府機関の代表や平和運動団体の代表、個人参加の方々で会場が埋め尽くされ、地球規模の大会であることを改

感じました。

山王神社境内の2本の

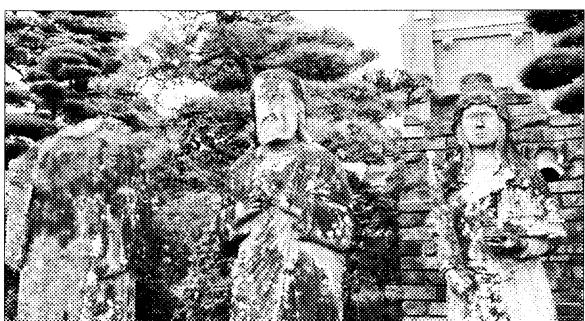
「被爆大楠」は被爆で蘇生が危ぶまれましたが、2ヶ月後に新芽を吹き、式見中

学校の生徒たちが「クスノキを守ろう。私たちの手で」と保存運動に立ち上がり、今は見事に青々とよみがえつ

てきました。クスノキの力強さにも、中学生たちの蘇生を願うまっすぐな思いと粘り強さにも感動しました。

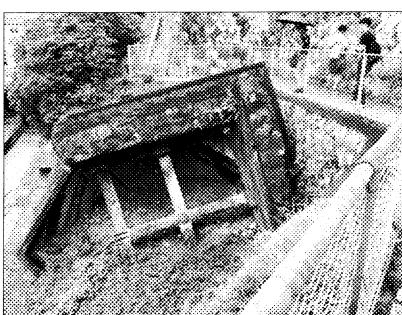
くったタペストリーは新生児の足形とお母さんたちの手形で描かれた地球。「どんな未来を、地球を、子どもたちに残していくのか？」

問われていると感じました。



(浦上天主堂) 被爆した3体の像

左は首がなく不明、中央はキリスト



爆風で飛ばされた
浦上天主堂の鐘楼

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119

9/3(日)桑島内科医院(内科系) 大枝315 TEL735-0001 おかだこどもの森クリニック

(小児科系) 藤塚1225 TEL745-7722 館浦整形外科(外科系) 永沼2230-1 TEL746-4832

9/10(日)東都春日部病院(内科系)(外科系) 大畑652-7 TEL739-2000

宇野クリニック(小児科系) 納壁1-6-5-2階 TEL760-3711

